



第 202 回  
定時株主総会

2024年6月26日(水)

古河電気工業株式会社

# 議事進行

1. 開会

2. 報告事項の報告

3. 議案の上程

4. 質疑応答

5. 議案の採決

6. 閉会

# 議決権数の報告

## 第1号

**第202期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)  
事業報告、連結計算書類ならびに  
会計監査人および監査役会の連結計算書類の  
監査結果報告の件**

## 第2号

**第202期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)  
計算書類報告の件**

# 当期における 主な取組みとその成果

# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の主な取組み

① 資本効率重視による  
既存事業の収益最大化

② 開発力・提案力の強化  
による新事業創出に  
向けた基盤整備

③ ESG経営の基盤強化



# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 成長性と収益性の観点から事業の位置付けを可視化



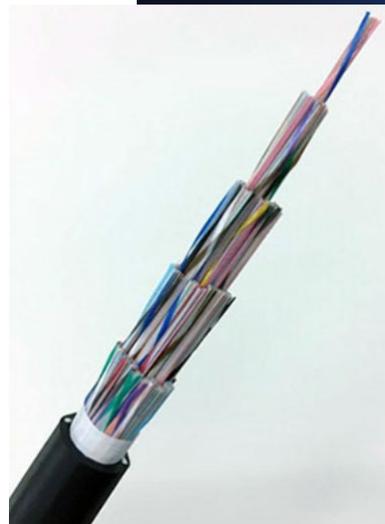
資本効率性を意識した経営管理を推進

# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### ■ 情報通信ソリューション 事業

- ▶ 製品ミックスの改善  
による利益率向上



# 当期における主な取組みとその成果

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### ■ 自動車部品事業

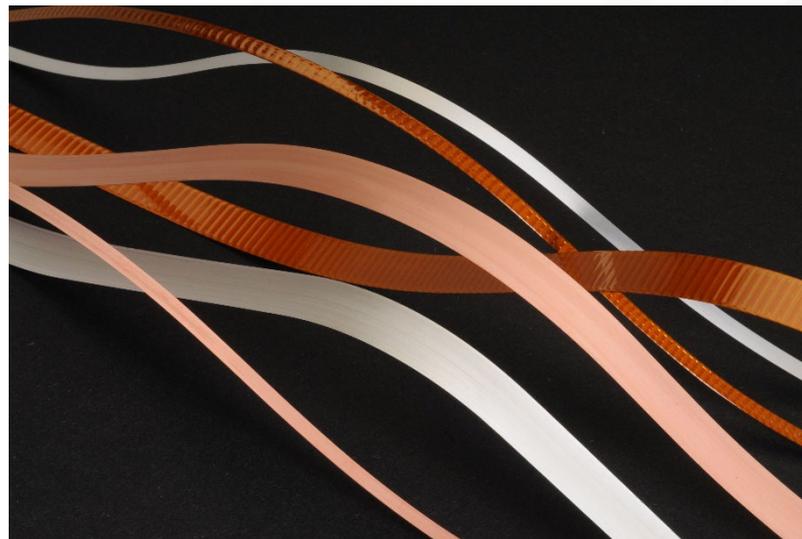
- ▶ 生産計画の変更にも柔軟に対応できる体制の整備
- ▶ 販売価格適正化の取組み



# 当期における主な取組みとその成果

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 核融合発電の開発を進める英国の顧客に対し超電導線材を供給
- 新たに同社に出資
  - ▶ パートナーシップの強化を推進





# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

### ■ 「環境目標2030」

- ▶ 脱炭素社会、  
水・資源循環型社会への  
貢献



達成の取組みを推進

# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

### ■ 「人材・組織実行力の強化」

- ▶ 従業員・組織の実行力を向上させ成長するための調査



**調査結果を踏まえた改善施策を実施**

# 当期における主な取組みとその成果

## ③ ESG経営の基盤強化

- 新たにESG連動報酬を加えた役員報酬制度の運用を開始



# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の業績（売上）

- 需要低迷により  
光ファイバ等が減収 
- ワイヤハーネス等の  
自動車部品が増収 



## グループ全体の売上減少

# 当期における主な取組みとその成果

## 当期の業績（損益）

- 販売価格の適正化等に取り組む 
- 売上の減少 
- 原燃料価格の上昇等 



**減益**

# 当期の業績について

## 連結損益計算書（単位：億円）

### 連結売上高

10,663



10,565

前期比

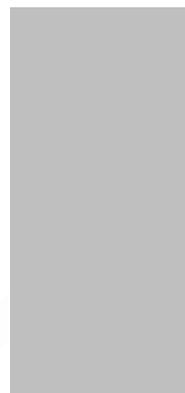
0.9% ↓

前期

当期

### 連結営業利益

154



112

前期比

27.7% ↓

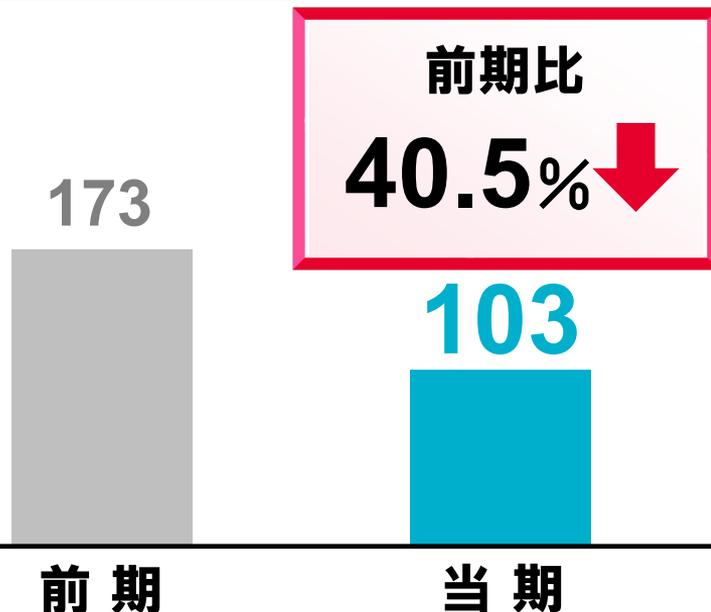
前期

当期

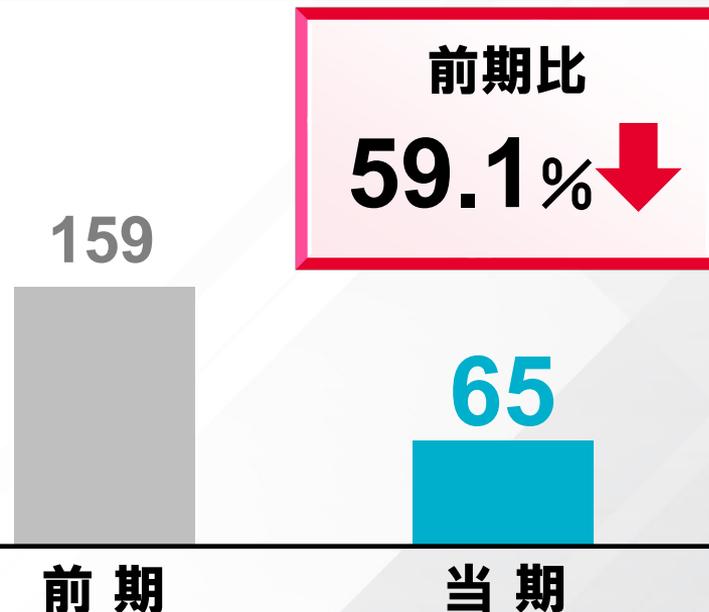
# 当期の業績について

## 連結損益計算書（単位：億円）

### 連結経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



# 連結および単体の 貸借対照表および損益計算書

当社ウェブサイトに掲載の招集ご通知に記載のとおり

# 連結および単体の 株主資本等変動計算書および注記表

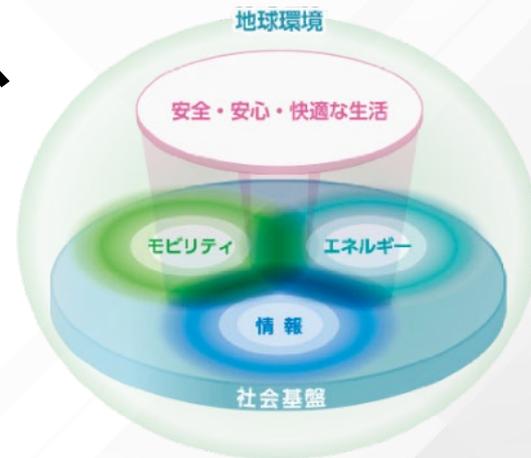
当社ウェブサイトに掲載

# 対処すべき課題

# 対処すべき課題

## 当社グループ

- 2030年におけるありたい姿を描き、  
目指す時間軸を明確化

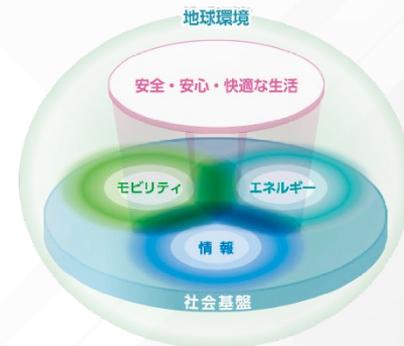


# 古河電工グループ ビジョン2030

# 対処すべき課題

## 古河電工グループ ビジョン2030

- 情報、エネルギー、モビリティの各領域およびこれらの融合領域
- これまでにない新たな事業の創出



古河電工グループ ビジョン2030

# 社会課題の解決を目指す

# 対処すべき課題

## 経営上の重要課題

### 収益機会のマテリアリティ

- 1** 社会課題解決型事業の創出  
- 次世代インフラを支える事業の創出  
- 環境配慮事業の創出
- 2** Open, Agile, Innovative
- 3** 多様なステークホルダーとのパートナーシップの形成

### リスクのマテリアリティ

- E** 気候変動に配慮したビジネス活動の展開
- S** 人材・組織実行力の強化
- G** リスク管理強化に向けたガバナンス体制の構築
  - コーポレートガバナンス
  - グループガバナンス
  - サプライチェーンマネジメント
  - 人権・労働慣行

# ビジョン2030・SDGsの達成

# 対処すべき課題

## 中期経営計画「Road to Vision2030—変革と挑戦—」



# 対処すべき課題

## 中期経営計画

- ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化
- ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備
- ③ ESG経営の基盤強化

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

- 情報通信ソリューション事業に注力
- 収益性・成長性等の観点から投資配分の最適化を推進

▶ 資本コストを意識した経営管理・意思決定を加速



# 中期経営計画の目標達成を図る

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### 光ファイバ・光関連部品等

- 高付加価値製品の拡販や新規顧客の獲得に注力
- 製造能力の整備、生産性の改善
- ネットワーキングシステムのグローバル展開推進



## 収益の確保を図る

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### 電力ケーブルシステム

- 生産性改善、工事施工能力の増強を推進
- 国内の超高压地中線、再生可能エネルギー向けの海底線や地中線の受注活動



収益の拡大を目指す

# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

### 自動車用ワイヤハーネス

- 車両軽量化、CO<sub>2</sub>削減に貢献
  - ▶ アルミワイヤハーネスの拡販
- 車の電動化の加速
  - ▶ 高電圧対応製品の開発と受注活動を推進

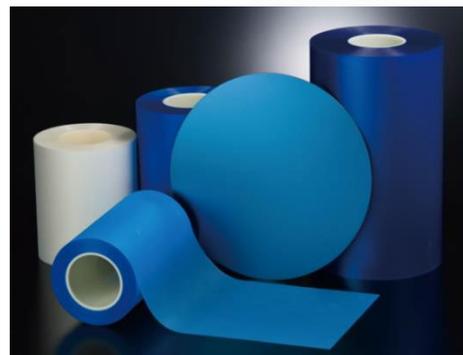


# 対処すべき課題

## ① 資本効率重視による既存事業の収益最大化

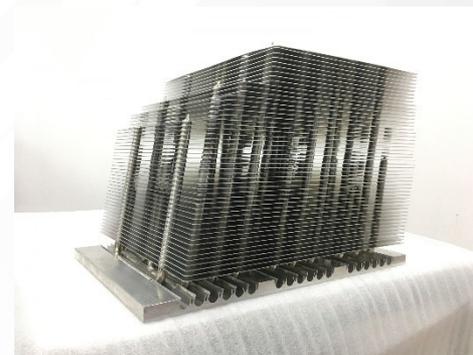
### 半導体製造用テープ

- 新工場建設および試作を  
引き続き推進



### 放熱製品

- 生成AIの需要拡大
  - ▶ 様々なニーズに対応した  
製品の拡販



# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 4つのコア技術を活用  
「メタル」「ポリマー」  
「フォトニクス」「高周波」
- 外部パートナーとの共創を推進



# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- デジタル技術やデータの利活用を推進
- 課題解決を起点とした製品・サービスの開発・提供



新たな社会課題解決型事業創出に  
向けた基盤整備を図る

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- フォトニクス技術、  
高周波技術を活用
  - ▶ 光電融合の実現に向けた  
光半導体デバイス等の  
開発を推進



オール光ネットワークと高効率エネルギー社会の実現に貢献

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 安全でサステナブルなエネルギーの供給に貢献



核融合発電関連製品の共同研究開発等を推進

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献



引き続きグリーンLPガスの  
研究開発に取り組む

# 対処すべき課題

## ② 開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備

- 社会インフラ維持管理向け  
デジタルソリューション  
▶ 提案活動を推進



「みちてん」は古河電気工業株式会社の特許商標（第6400211号）です。

# 更なる高度化を目指す

## ③ ESG経営の基盤強化

- 特定したマテリアリティごとに  
2025年度の目指す姿を設定
  - ▶ 実現する施策を策定
  - ▶ 進捗を測定する  
サステナビリティ指標を選定し、  
目標値を設定





# 対処すべき課題

## 中期経営計画

### ■ 2025年度

財務目標 サステナビリティ目標

達成を図る

# 対処すべき課題

## 当社グループ

各種施策の着実な実行

企業価値の向上を図る